

令和 2 年 6 月 18 日現在

機関番号：16102

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K04552

研究課題名(和文) 幼稚園における保育者の「環境を構成する」力量形成に関する研究

研究課題名(英文) A Study on formulation of early childhood education teachers' capabilities to arrange the educational environment in kindergarten

研究代表者

塩路 晶子 (SHIOJI, AKIKO)

鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・准教授

研究者番号：70314888

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、保育者が環境構成する力量を形成し、保育の質を高めるために、ベテラン保育者が持つ実践知・経験知を可視化し、それらを身に付けることができるビデオ教材およびブックレットの開発を目的とした。鳴門教育大学附属幼稚園と協働で研究を行い、幼児が主体的に遊ぶことができる環境を構成するために、ビデオ教材及びブックレットを開発した。現職保育者が研修等で使用した結果、ブックレットに掲載されている保育の写真や事例について具体的に考察を行うことなどを通して、自らの保育について振り返った。今後も研修等で使用し、保育の環境構成について考え、保育の質を高めていく意欲の向上が見られた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の中で開発したブックレットやビデオ教材は、「保育の環境を構成する」という、保育者にとって重要であるが身に付けることが難しい力量の形成に寄与することができる。ブックレットは、理論編と実践編に分かれており、基礎的な知識を踏まえてから、保育実践について考えるようになっている。また、実践編は「問い」にこたえるワークシート形式であり、保育の写真を中心としたステージ1と、保育事例を中心としたステージ2に分かれて、段階的に学ぶことができ、保育者がキャリアに応じて、長期的な視野に立って、保育の質の向上をめざすことができることが社会的意義である。

研究成果の概要(英文)：Our research team interviewed experienced as well as new teachers about how to arrange the educational environment, and created a comic book and videos on early childhood education and children's play. Additionally, we published "The Learning Booklet", which included worksheets with pictures and case examples. We found this booklet could be able to be used to develop teachers' skills.

研究分野：幼児教育

キーワード：環境構成 保育の質 ブックレット

1. 研究開始当初の背景

幼稚園教育は環境を通して行うものであり、環境を構成することは、保育者の重要な役割として位置づけられている。若手保育者の中には、幼児が主体的に遊ぶ環境の構成に困難を感じる人が少なくない。ベテラン保育者がもつ保育の環境構成の力量を身に付けるための手立ては、必ずしも明確になっていない現状がある。

2. 研究の目的

本研究においては、鳴門教育大学附属幼稚園の遊誘財研究にもとづいて、幼児が主体的に遊ぶ環境を構成するための観点を明らかにし、若手保育者が保育の環境構成の力量を長期的に身に付けていく具体的手立てとして、ラーニング・ブックレットやビデオ教材を開発することを目的とする。

3. 研究の方法

研究目的を達成するために、以下の研究方法をとった。①鳴門教育大学附属幼稚園の遊誘財データベースに蓄積されている保育事例について、幼児の主体的遊びを可能にした環境構成を分析する。②幼児が主体的に遊ぶ保育事例を取り上げ、遊びと保育環境の理解を促すための保育漫画を作成する。③ベテラン保育者と若手保育者にインタビュー調査を行い、保育の環境構成の観点を明らかにする。データはグラウンデッド・セオリー・アプローチ(GTA)を用いて分析を行う。④これらにもとづき、ワークシート形式のラーニング・ブックレットとビデオ教材を開発する。⑤ラーニング・ブックレット及びビデオ教材をもちいた保育者向けの研修を実施し、それらの有用性についてアンケート調査を行う。

4. 研究成果

(1) 保育の環境構成の観点について

本研究では、保育における質の高い遊びの環境構成の観点を明らかにするために、インタビュー調査を行い、若手保育者からは、「子どもの姿に沿って保育者が提案する遊び」と「子どもの思いやアイデアからはじまる遊び」という2つの状況が語られ、ベテラン保育者からは「子どもの思いや意欲、イメージからはじまる遊び」が語られた。

ベテラン保育者が考える質の高い遊びの保育における環境の構成やかかわりは、「子どもからはじまる遊び」に焦点をあてていくことが大切にされており、その手立てが具体的である。子どもがはじめた遊びについて、ベテラン保育者は子どもの心の動きや活動の流れを理解しながら、発達の状況や保育のねらいを組み合わせる考え、ダイナミックな遊びの中での子どもの必要性に応じて臨機応変に、具体的な環境の構成を行う手立てを講じている。

一方で若手保育者が語るのは、子どもの姿の理解に基づいて、保育者が事前の遊びの準備を丁寧に行い、その環境構成が子どもの遊びとうまく合った場合である。また子どもの思いやアイデアからはじまる遊びの時には、その環境構成についての具体的手立てが明確になっていない。しかしインタビューの中で若手保育者は教材研究の重要性についても語っており、担任保育者として子どもの思いに沿った遊びを展開する為の環境構成の観点を身につけてようとしている過程であると考えられる。

また、ベテラン保育者は他の保育者と保育の共通理解を図ったり、時間調整をしたり、他の保育者の力量を子どもの遊びにつなげたり、子どもについての多様な理解を保育者同士で行うなどして、環境の構成を行い、一人ひとりの子どもが最大限に遊びを通して豊かな経験ができるように手を尽くしている。このような他の保育者との協働を生み出す柔軟性や開放性こそが、ベテラン保育者の環境構成の特徴的観点の一つであると考えられる。

(2) ラーニング・ブックレット及びビデオ教材の開発

①ラーニング・ブックレット

『豊かな遊びの事例から学ぶ！ 保育の環境構成 ラーニング・ブックレット』を開発した。総ページ数は62ページである。「Part1 理論編」と「Part2 実践編」と「巻末資料 保育事例・保育漫画」からなっており、実践編は「ステージ1 ワークシートで学ぶ！ 若手保育者のための環境構成の実際」「ステージ2 保育事例から学ぶ！ 環境構成スキルアップ！！」から構成されている。

②ビデオ教材

ビデオ教材を視聴できるWeb ページを図1の通り作成した。開発したブックレットは研修での利用を想定しており、動画コンテンツの配布には、手軽な視聴環境、利用者の認証、コンテンツの保護といった特徴を持つことが望まれた。

これらを実現する手段としてOSSの学習管理システム Moodle[1]とSONY社製ストリーミング

配信システム Mediasite を組み合わせて利用した。個人情報の保有を避けるため、今回は「手動登録」によりユーザを登録した。手動登録の場合、Moodle の管理者により登録を行う必要があるため、事前に複数のアカウントを登録しておき、それを必要に応じて希望者で配布するという方法を用いた。配布対象者は、ブックレットやビデオ教材を用いた授業や講演等を行った際に、受講生に対して保育についての研修を行うことを目的として、ビデオ視聴のためのアカウント登録を希望した者である。なお、アカウント登録は教育委員会や幼稚園・認定こども園・保育所等の組織や施設単位を対象としており、個人ユーザへの配布は行っていない。

今回のコース用には、動画コンテンツとして次の6つのタイトルを登録した。なお、これらの動画コンテンツは、鳴門教育大学附属幼稚園遊誘財データベースに登録されており、あらかじめ編集されていた保育についての動画データである。

(3) ラーニング・ブックレット及びビデオ教材の有用性調査

①ラーニング・ブックレット

ラーニング・ブックレットを用いた研修を現職の保育者と学生を対象に行い、アンケート調査を行った。調査期間は2019年4月から9月である。幼稚園教員129人、保育士19人、保育教諭107人、教育委員会指導主事1人、大学生・大学院生40人（現職教員で大学院生も含む）、その他15人から回答を得ることができた。7つの質問事項について5件法によって回答を得て、SPSSにて分析した。ここからブックレットは保育者にとって有用であり、特に、幼稚園教師の評価は、他のグループより高いことがわかった。

また、自由記述からは次のような意見が明らかになった。ブックレットがカラー刷りであるため、写真等もみやすく全体に親しみやすい印象をもって受け止められている。写真や事例、漫画は子どもの遊ぶ姿をよく表していて、理解しやすく、自分の保育でも経験しそうな場面が取り上げられているというコメントであった。ワークシートには考える視点が示されているため、保育について深く考えたり、ブックレットで学んだことを自分の保育の振り返りにもつなげていくことができる、とのことである。ブックレットの使い方として一番多かった回答は、園内研修でディスカッションを行いたい、とのことであった。一方で、このブックレットは4歳児の写真や事例が多くなっており、他の年齢の乳幼児のものも掲載してほしい、ワークシートの問いの解答例がほしい、といった要望もあがった。

以上の事から、ブックレットは園内研修で用いて掲載されている写真や事例をワークシートに記入して検討し、その後、自らの保育の振り返りにつなげていくのに有益であるということが明らかになった。

②ビデオ教材

すべてのコンテンツについての、利用者(学内スタッフ、研修用)属性別及び時間帯別の視聴セッション数を分析した。それによると11時から12時にかけてと15時から17時にかけての2つのピークが存在しており、この時間帯に研修が実施されたと予想される。また、それ以外の時間帯での視聴はテストのためにアクセスしたものと考えられる。

<参考文献>

- ①日本保育学会課題研究委員会、質の高い遊びとは何か ―遊びの質を規定するための条件―、保育学研究、第49巻第3号、2011年、51-60
- ②藤原伸彦・田村隆宏・木下光二、保育者養成における「遊誘財データベース」の活用、教育システム情報学会、教育システム情報学会研究報告、25(7)、2011年、65-70
- ③戈木クレイグヒル滋子編著、質的研究法ゼミナール：グラウンデッド・セオリー・アプローチを学ぶ、第2版、医学書院、2013年

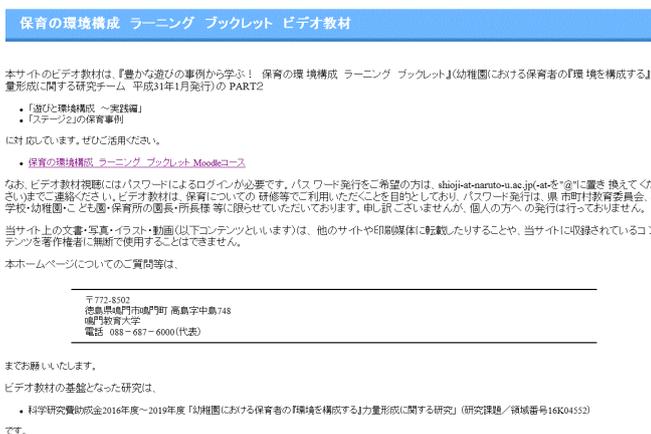


図1 ビデオ教材視聴のWebページ

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 SHIOJI Akiko, YUJI Hiroki, TAMURA Takahiro, KINOSHITA Mitsuji, FUJIHARA Nobuhiko, SONE Naoto, and SASAKI Akira	4. 巻 8
2. 論文標題 A Study on formulation of early childhood education teachers' capabilities to arrange the educational environment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PROCEEDINGS OF THE 8TH JAPAN-CHINA TEACHER EDUCATION CONFERENCE, Hyogo University of Teacher Education	6. 最初と最後の頁 196-209
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塩路晶子、湯地宏樹、田村隆宏、佐々木晃	4. 巻 38
2. 論文標題 保育者の環境を構成する観点に関する研究 若手とベテランの遊びについての語りを手がかりに	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育大学協会研究年報	6. 最初と最後の頁 29-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 曾根直人・藤原伸彦・塩路晶子・湯地宏樹・田村隆宏・木下光二	4. 巻 17
2. 論文標題 保育の環境構成ラーニングブックレット用ストリーミング配信システムの構築と運用	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 鳴門教育大学情報教育ジャーナル	6. 最初と最後の頁 30-34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 0件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 塩路 晶子・湯地宏樹・川端大樹・居上 真梨子・藤川 佳余子・藤原 伸彦・木下光二
2. 発表標題 若手保育者は環境をどのように考えて構成し保育しているか
3. 学会等名 日本保育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 湯地宏樹・塩路晶子・川端大樹・居上 真梨子・藤川 佳余子・藤原 伸彦・木下光二
2. 発表標題 若手保育者は環境をどのように考えて構成し保育しているか
3. 学会等名 日本保育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田村隆宏、湯地宏樹、佐々木晃、塩路晶子、藤川佳余子
2. 発表標題 保育者の環境についての理解を深める教材開発I -保育記録の漫画化を通して-
3. 学会等名 日本保育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤原伸彦、湯地宏樹、塩路晶子、田村隆宏、木下光二、佐々木晃、杉山健人
2. 発表標題 保育者の環境についての理解を深める教材開発II - Webビデオ教材の開発-
3. 学会等名 日本保育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akiko Shijoi, Hiroki Yuji, Takahiro Tamura, Mitsuji Kinoshita, Nobuhiko Fujihara, Natoso sone, and Akira Sasaki
2. 発表標題 A Study on formulation of early childhood education teachers' capabilities to arrange the educational environment
3. 学会等名 第8回日中教師教育学術研究集会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	木下 光二 (KINOSHITA Mitsuji) (40509634)	鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・教授 (16102)	
研究分担者	湯地 宏樹 (YUJI Hiroki) (50290531)	鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・教授 (16102)	
研究分担者	田村 隆宏 (TAMURA Takahiro) (50294731)	鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・教授 (16102)	
研究分担者	藤原 伸彦 (FUJIHARA Nobuhiko) (60333564)	鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・准教授 (16102)	
研究分担者	曾根 直人 (SONE Naoto) (70263879)	鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・准教授 (16102)	